

経済産業省の施策紹介

2025.9.9

中国経済産業局 地域経済部 デジタル経済課

- 
- 1. デジタルライフライン全国総合整備計画**
 - 2. スマートモビリティチャレンジ事業（地域新MaaS創出推進事業）**

1. デジタルライフライン全国総合整備計画

- ・ 人口減少が進むなかでもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため、約10年のデジタルライフライン全国総合整備計画を策定
- ・ デジタル完結の原則に則り、官民で集中的に大規模な投資を行い、共通の仕様と規格に準拠したハード・ソフト・ルールのデジタルライフラインを整備することで、自動運転やAIのイノベーションを急ぎ社会実装し、人手不足などの社会課題を解決してデジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成に貢献する

デジタルライフライン全国総合整備実現会議

2023年度の第1期実現会議

⇒「デジタルライフライン全国総合整備計画」を決定

2024年度の第2期実現会議

⇒仕様・運用方法等の策定、サービスの実装の状況やその検討から示唆される課題を踏まえ、全国展開に向けた方針を以下の通り決定することを目指す。

・官民で目指すべきデジタルライフラインの整備、活用目標及び必要なアクションを位置づけた「ロードマップ」

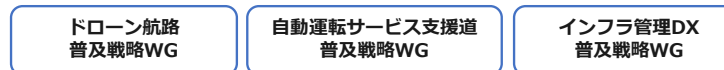
・事業者・地方自治体がデジタルライフラインを整備・活用する上で参照すべき「ガイドライン」

アーリーハーベストプロジェクト

2024年度からの実装に向けた支援策

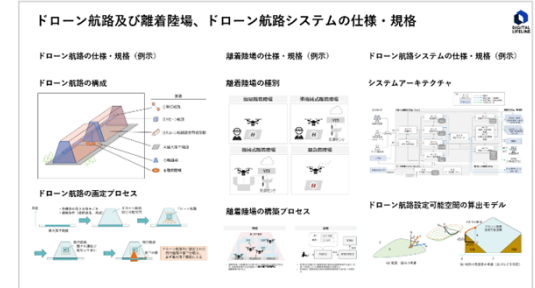


各ワーキンググループで議論



ガイドライン等の策定状況

「ドローン航路普及戦略WG」において、ドローン航路の仕様・規格、ガイドライン、全国線整備地図を策定し、ドローン航路システムのソースコードを公開するとともに、ドローン航路登録制度の開始に向けたロードマップを策定。



年度	2023年度 (第1期) ✓	2024年度 ² (第2期)	...
成果物	デジタルライフライン全国総合整備計画  アーキテクチャ、基本的なコンセプト及び仕様を策定	仕様・運用方法 (ConOps ³)  サービスの実装  課題整理・効果検証 	全国展開に向けた方針の決定 整備・活用目標 アクション (ロードマップ)  詳細な仕様・運用方法 (ガイドライン) 

【参考】中国経済連合会との共催による地域説明会

『デジタルライフライン全国総合整備計画』地域浸透・展開イベント

地域が生き残り、安心して暮らせるデジタル社会へ ～デジタルライフラインで拓く、持続可能な地域社会の実現～

少子高齢化による人口減少や人手不足の深刻化、物流・人流の停滞、悪化する災害対応…現代社会が直面する深刻な課題を、私たちはどのように乗り越えていくべきなのでしょう？

政府が推進する「デジタルライフライン全国総合整備計画」は、まさにその答えとなる大きな取り組みです。約10年の中長期的な視野で、官民一体となった社会全体のデジタル変革を推進し、ドローンや自動運転などの先端技術の活用により人手に頼ることなく必要なサービスが、必要な場所・タイミングで行き渡る社会の実現を目指しています。

本イベントでは、DXの基盤整備と成り得るデジタルライフラインにより、持続可能な地域社会をどのように実現していくべきか、今後の地域での本格実装に向けた検討・準備の契機に繋げるための場作りを目的に開催します。

参加費 無料 (事前登録要) **開催日時** 10月4日(金) 13:20～16:45(予定) ※受付・開場 12:50～ **開催場所** 広島国際会議場 B2F 国都会議ホール「ヒマワリ」 (広島県広島市中区中島町1-5 ※平和記念公園内) **オンライン 同時配信あり**

基調講演 デジタルライフラインの社会実装と政策展開
経済産業省 国際情報政策局 情報経済課 アーキテクチャ戦略企画室長 緒方 淳 氏

特別講演 技術により進む社会・産業構造の変革とアーキテクチャ
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 研究科委員長・教授 白坂 成功 氏

Uber Eatsは何が動かしかったのか？ デジタル等の最新技術によって、社会・産業構造の変革が急速に進み始めている。最新技術によるビジネスや産業構造の変化を捉えたうえで、それをリードするには、アーキテクチャについて知る必要がある。本講演では、アーキテクチャの考え方を説明した上で、DXを導くデジタル利用で変わるのではなく、最新技術が導いた社会・産業構造の変革につなげていくためのアーキテクチャについて、具体的な例も交えて紹介する。

最前線でのビジネス動向と地域における取り組み

①ドローン航路を活用したドローンビジネスについて 株式会社トラジェクトリー 代表取締役社長 小関 賢次 氏

②地域社会におけるデジタル化のメリット ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット総括 データ基盤戦略本部 ソリューション開発戦略部長 新居 久朗 氏

③デジタル技術を活用したインフラマネジメントの推進について 広島県 土木建築部 部長 上田 隆博 氏

特別対談 デジタル変革におけるゲームチェンジャーで勝者となるために
株式会社AIST Solutions Vice CTO 和泉 憲明 氏 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 研究科委員長・教授 白坂 成功 氏

DXに関する国内外の技術動向・政策動向を踏まえて、生成AIやデータ連携を契機とするデジタル技術が、社会や産業の構造をどう変革するのか、その際の責任の所在がどうなるのか、等にはこのような変革を地方・中小中堅がデジタル変革をどのようにリードすべきか、これらに関して、両者の多角的な視点から対談する。

※講演タイトル・内容については、一般変革となる可能性がありますので、予めご了承ください。

主催：中国経済連合会、中国経済産業局
講演：中国地方整備局、中国総合通信局、中国総合通信懇談会
国立研究開発法人産業技術総合研究所

「デジタルライフライン全国総合整備計画」地域浸透・展開イベントを開催し、国が推進する政策、ドローン等の先行実装状況、地域は今後どのように取り組んでいくべきか、などを紹介

【日時】 2024年10月4日（金）13：20～17：00

【形式】 ハイブリッド開催
(現地：広島国際会議場＋オンライン)

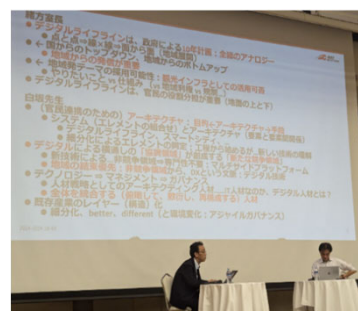
【内容】

＜政策説明＞

- ・経済産業省 緒方 淳 氏
- ・慶應義塾大学大学院 白坂 成功 氏
- ・株式会社トラジェクトリー 小関 賢治 氏
- ・ソフトバンク株式会社 新居 智久 氏
- ・広島県 上田 隆博 氏

＜特別対談＞

- ・株式会社AIST Solutions 和泉 憲明 氏
- ・慶應義塾大学大学院 白坂 成功 氏



2. スマートモビリティチャレンジ事業（地域新MaaS創出推進事業）

自動運転等のモビリティサービスの目指すべき姿

- まずは有人・無人を問わず、地域の特性やニーズに応じた最適なモビリティサービスを早期に実装することで、社会受容性向上や環境整備を進めて基盤を固め、足元の課題に対応する。
- 同時に、より複雑な交通環境でのサービスを実現すべく、技術の高度化や事業化を進め、自動運転等のモビリティサービスの本格的な普及につなげる。
- それぞれで得られる成果が相互作用し、両輪で支え合う。

人流・物流上の社会要請に早期に対応する ビジネスの具体化

MaaSやレベル2以上の自動運転移動サービス早期実装により社会受容性向上や環境整備が進展
価値のたすき掛けによる事業化の可能性追求

現 状

- ✓ 自動運転はイニシャル／ランニングコスト高
- ✓ MaaSはアプリ・システムが各地域に混在。周辺の交通参加者や潜在ユーザーが新たな移動サービスを身近に感じていない
- ✓ バリューチェーン側の付加価値を確保するためのデータ連携の取組が十分進んでいない

課題例

事業性以外の課題解決を優先した実証

短期間かつ小規模の実証が多く浸透しない

データ連携のユースケースを模索中

成果を統合、様々なレイヤー
でのビジネスモデルを確立

将来を見据えたロボタク等の 高度技術の開発・実装

複雑な条件でも走行可能な自動運転（ロボタク等）ビジネスの実現に向け技術が高度化、大規模展開により事業化へ

現 状

- ✓ 国内では複雑な交通環境を自由に走行できる自動運転車両の開発があまり進んでいない

課題例

開発資金、ソフトウェア人材等の不足

外資の開発プレイヤーの日本進出

公道走行経験の少なさ等による開発力不足

【中国地域】

令和7年度地域新MaaS採択地域の実証概要

島根県大田圏域（実施主体：社会医療法人仁寿会）

複数医療機関による医療MaaS車両の共同利用モデルの確立に向けた実証

- 複数医療機関での車両の共同利用及び運営・配車等を地域の他事業者が行う事業モデルの確立を目指す。
- 医療MaaS車両の共同利用により車両の稼働率を高めるとともに、運用主体のコスト負担を軽減する共同利用モデルの確立について総合的に検証する。加えて、小型車両・大型車両による運行範囲・収支構造の比較や自動運転適否を検証する。

実証実験イメージ

